



学校図書館だより 7月号

令和5年7月
柏市立柏中学校
柏市学校図書館指導員

7月に入り、1学期も残り少なくなりました。もうすぐ夏休みを迎えます。計画をしっかりと立て、大切に時間を過ごしたいですね。忙しく、本を読む時間の確保が難しいときは、移動時間や待ち時間、寝る前のひと時など、隙間時間の有効活用がおすすめです。



夏休み本 特別貸出について

貸出冊数 ひとり 5冊まで
※新着本はひとり1冊まで

貸出期間 6/30(金)～7/18(火)
返却期間 9/1(金)～9/8(金)



今月のおすすめ本

【1学期 新着本より】 約300冊の新着本が届きました！

『あなたのための短歌集』

木下龍也(著) ナナクロ社 <911>

歌人・木下龍也さんは短歌の個人販売をしています。依頼者からの想い(お題)をもとに短歌をつくり、封書で届けるそうです。4年間で生まれた700首から100首が収録されています。お題を読んでから短歌を読むと、短歌がよりわかりやすく、身近に感じられます。

『からだの美』

小川洋子(著) 文藝春秋 <914>

からだは秘密に満ちています。イチローの肩、羽生善治の震える中指、貴乃花のふくらはぎ、卓球選手の視線、赤ん坊の握りこぶし。1つ1つ、著者の視点で語られています。からだの不思議と美しさを感じる本です。

『南極の食卓』

渡貫淳子(著) 家の光協会 <297>

渡貫さんは、30代後半に南極地域観測隊の調理隊員として南極に行きました。どうして南極に行きたいと思ったのか、どのようにして隊員になったのか、そして南極での生活。なかなか体験することができない南極での生活をイメージすることができます。渡貫さんの作った食事の写真もたくさん載っています。ごみを出さない工夫など、私たちの生活を考えるきっかけにもなります。

『“正しい”を疑え!』 岩波ジュニア新書

真山仁(著) 岩波書店 <914>

「自分の考えは絶対に正しい」と自分の意見を押し付ける人、他人の意見に安易に流される人、不安と不信が蔓延する社会において私達はいったい何をよりどころにすればよいのか? 作家・真山仁さんが考える、自分を信じて自分らしく生きるためのヒントです。

(本文より引用)

9類の本

『宙ごはん』 町田そのこ(著) 小学館

『成瀬は天下を取りにいく』 宮島未奈(著) 新潮社

『27000冊ガーデン』 大崎梢(著) 双葉社

『月の立つ林で』 青山美智子(著) ポプラ社

『古本食堂』 原田ひ香(著) 角川春樹事務所

『君のクイズ』 小川哲(著) 朝日新聞出版

